

はじめに	003
本書の活用法	010

## Part1 実習の1日(行動の流れ) 013

実習初日：ナースステーションで最初にすること	014
いよいよ患者さんのところに行く	017

## Part 2 根拠を整理して 看護師国家試験に活かそう 031

### 1 環境整備 032

#### A 消毒 032

①感染経路 034

②院内感染でとくに怖い薬剤耐性菌 035

#### B 環境 036

①環境整備のポイント 036

②環境は有用な情報収集源 038

③環境整備＝患者さんの安全(転倒防止) 039

### 2 検温(バイタルサイン測定) 042

#### A 体温 042

①体温測定 043

②体温変動 046

#### B 呼吸数・酸素飽和度、脈拍・血圧 059

①呼吸数と酸素飽和度の測定 059

②脈拍測定 068

③血圧測定 073

コラム①	学生ができること、できないこと	095
コラム②	感染で見られる特殊な熱	096
コラム③	呼吸リズムの異常	098
コラム④	医療倫理と憲法、法律の関係とは	100
コラム⑤	脱水とは	102
コラム⑥	脱水時の輸液	104
コラム⑦	感染予防1：スタンダードプリコーション	106
コラム⑧	血圧を測定する場所	107
コラム⑨	バイオハザードマーク	109
コラム⑩	ショックの基準	110
コラム⑪	針刺し事故予防の具体的確認(HBV、HCV、HIV)	113
コラム⑫	糸球体濾過量(GFR)と慢性腎臓病(CKD)の重症度分類	114
コラム⑬	人工透析	116

### 3

<b>移送</b>	118
-----------	-----

<b>A 車椅子</b>	119
--------------	-----

①車椅子の構造(自走式)	119
②ボディメカニクスと車椅子への移乗	121
③車椅子への移乗～位置	126
④患者さんの姿勢	128
⑤車椅子での移動	131

<b>B ストレッチャー</b>	134
------------------	-----

①ベッドからストレッチャーへの移乗	134
②ストレッチャーでの移送	136
コラム⑭ 看護助手と准看護師の仕事	138
コラム⑮ 片麻痺の患者さんの車椅子への移乗	140
コラム⑯ 酸素ボンベと配管の色	142
コラム⑰ ストレッチャーの高さと腰への負担	143
コラム⑱ 移乗と摩擦	144
コラム⑲ 歩行介助	145

### 4

<b>体位変換</b>	146
-------------	-----

<b>A 体位の確認</b>	146
----------------	-----

①体位の確認	146
②体位ごとの褥瘡危険部位	151
<b>B 体位変換(仰臥位から側臥位へ)</b>	152
①体位変換の目的	152
②仰臥位から側臥位への体位変換の手順	152
<b>C 皮膚の構造と機能</b>	155
①皮膚の構造	155
②皮膚の機能	159
<b>D 褥瘡</b>	161
①NPUAP分類：褥瘡の進行度分類	161
②褥瘡の好発部位とブレードンスケール	162
コラム⑳ 良肢位	166
コラム㉑ 火傷	167

## 5 食事介助(入院時の食事療法) 170

<b>A 食事の役割</b>	170
①熱量(カロリー)	170
②栄養素	170
③消化器	171
<b>B 嚥下の基本理解</b>	172
①嚥下の5期モデル	172
②嚥下機能と加齢の関係	174
③神経系疾患との関連	174
<b>C 嚥下紹介のある患者さんへの食事介助</b>	175
①姿勢	175
②食事の性状	176
③食事介助の手順	177
<b>D 経管栄養</b>	180
①経管栄養の目的	180
②栄養チューブの挿入	181
③経管栄養剤注入時の注意	186

<b>E 中心静脈栄養(TPN、IVH)</b>	188
①中心静脈栄養の目的	188
②中心静脈栄養の注意点	189
コラム②② 栄養アセスメントとBMI	192
コラム②③ 食事摂取基準と不足しがちなもの	194
コラム②④ 栄養士・管理栄養士の仕事	196
コラム②⑤ 歯の基本理解と虫歯・歯槽膿漏	197
コラム②⑥ 誤嚥時の対処法	199
コラム②⑦ 口腔衛生	201
コラム②⑧ 胃瘻	204
コラム②⑨ 胸腔ドレナージ	205
コラム③⑩ 腹腔ドレナージ	208

## 6 排泄介助

<b>A 排尿・排便の仕組み</b>	211
①排尿のメカニズム	211
②排便のメカニズム	212
<b>B 排尿介助</b>	214
①尿器を用いた介助	214
②導尿	217
<b>C 排便介助</b>	223
①床上排便	223
②摘便・グリセリン浣腸	224
<b>D おむつと排尿・排便介助</b>	232
①おむつを必要とする状態	232
②おむつの使い方と注意点	234
③おむつの選択	235
コラム③① 紫色バググ症候群	239
コラム③② 感染予防2：手袋の滅菌操作	240
コラム③③ ウロストミー（尿路ストーマ）	241
コラム③④ 感染予防3：清潔・不潔と個人用防護用具（PPE）	242
コラム③⑤ 温電法・冷電法	245
コラム③⑥ ストーマ	247

コラム⑳	尿失禁の種類と対応	250
コラム㉑	陰部洗浄	252

## 7 清潔介助

<b>A</b>	<b>入浴の効果と入浴介助</b>	257
①	入浴効果	257
②	入浴介助	260
③	着衣とその後のケア	265
<b>B</b>	<b>全身清拭</b>	267
①	全身清拭の目的	267
②	全身清拭の準備と手順	269
③	部分清拭(手浴・足浴・床上洗髪)	278
コラム㉒	睡眠	286
コラム㉓	寝衣交換	289
コラム㉔	心電図電極の位置	290
コラム㉕	清拭と洗浄剤	296
コラム㉖	爪切り	297

## 8 診療介助・検査介助

<b>A</b>	<b>診療介助</b>	301
①	胸部の診察	302
②	腹部の診療	315
③	頭部の診療(頭部の視診)	321
<b>B</b>	<b>検査介助</b>	328
①	画像診断検査	329
②	穿刺	337
コラム㉗	医師・歯科医師の仕事(と「業務独占・名称独占」と看護師の相対的欠格事由)	341
コラム㉘	副雑音	343
コラム㉙	吸入と体位ドレナージ、呼気胸郭圧迫法	344
コラム㉚	吸引	346
コラム㉛	気管内挿管とその管理	350
コラム㉜	結膜炎	351

コラム⑤⑩	脳神経 名前・役目・出発地点	352
コラム⑤⑪	診療放射線技師、臨床検査技師の仕事	354
コラム⑤⑫	造影レントゲン(X線)検査、造影CT検査	355
コラム⑤⑬	脊髄造影	357
コラム⑤⑭	脳ヘルニアと脳出血	358
コラム⑤⑮	静脈血採血	362
コラム⑤⑯	血糖値自己測定	365

## 9 与薬管理 366

### A 薬の種類 366

①注射薬 368

②輸血 372

コラム⑤⑰ 薬剤師の仕事 375

コラム⑤⑱ 包帯法 376

コラム⑤⑲ 止血法 378

コラム⑤⑳ 毒薬・劇薬・麻薬・向精神薬 379

コラム⑤㉑ 内服薬と飲むタイミング 381

コラム⑤㉒ 予防接種の種類 382

コラム⑤㉓ 与薬の具体例(結核DOTS) 383

コラム⑤㉔ ソーシャルワーカーとメディカルソーシャルワーカーの仕事  
(加えて社会福祉士と精神保健福祉士の仕事) 385

## 10 リハビリテーション 386

### A 病院でのリハビリテーション 386

①予防側面：早期退院・早期離床 388

②病院内リハビリテーションの実際 391

### B 病院外でのリハビリテーション 393

コラム⑤㉕ 理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)の仕事  
394

さくいん 398